



# 和光の緑と湧き水だより 会報 Verda 170号

NPO 法人 和光・緑と湧き水の会 会報発行 2016年10月号 代表理事 高橋絹世 (462-9912)  
身近な自然を知って守り伝えよう <http://wako-wakimizu.org/>

28年	全体会	新倉ふれあいの森	白子・大坂ふれあいの森(地域の会と協力して)	樹林公園
10月	25日(火) コープみらい和光地区湧き水観察会	10日(月) 定期保全	8日富澤湧水保全 19日大坂保全	
11月	11月3日:バス研修会 長瀬と秩父ジオパーク研修会	19日(土) 定期保全	12日富澤湧水保全 16日大坂保全	5日昆虫さがし森あそび

## 1. 和光市自然環境マップの編集会議開催・8月26日

28年度和光市の環境課と協働事業として“和光市自然環境マップ”づくりを進めています。マップの詳細、環境についての和光の特徴をどのように組み入れるか等、検討会を開き、熱心に意見交換を行いました。今回は、環境課とマップのデジタル化を受け持つ小向さん他9名が集まり、詳細が決まってきました。



## 2. NHK 首都圏ネットワーク「行ってみよう・行ってみよう」和光の湧き水放映

9月初めにNHK埼玉放送局より、白子湧水群の富澤湧水など湧き水の案内を依頼され、高橋が案内しました。熊野神社や湧き水の仕組みが実際に見える富澤湧水を紹介し、又9月4日の生き物観察会の様子も取材され、2016年9月9日に「和光の湧き水とふるさと民家園」について放映されました。NHKの放映後は「自然環境の保全」と「貴重な自然を多くの人たちに知ってもらおう」ことの連携がうまく進むよう願っています。



## 3. 白子湧き水・生き物観察会

年1回の白子湧水生き物観察会を、今年も総合児童センターと共催で開催しました。親子が参加して、白子湧水群の生き物など生態系が健全に保たれているかなどを市民参加で体験する目的で行っています。今年は天候不順で雨の日が多いですが、湧水周辺での生き物はたくさん見つかりました。白子の湧水にはサワガニが生息しています。この環境をしっかりと保全していきたいところです。最後に湧き水で冷えたスイカも全員で食べて楽しい観察会でした。

## 4. シニア共助担い手塾で「里山保全ボランティア体験」紹介と参加を呼び掛け



サンアゼリア小ホールいっぱいの約90名の参加者があり、和光市及び近隣市内で活動している6団体が、シニア共助担い手として活動を呼び掛ける紹介コーナーがあり、1団体として湧き水の会の活動を紹介しました。和光の自然を知り、守り、活かす活動、保全や観察会、会報作りからチラシ作りや広報、イベント企画に至る総合的な活動全体を「里山保全ボランティア」と位置づけていること、参加者の持っている経験や知識を当会に活かして行ける会として呼び掛けました。

## 5. 保全活動紹介・白子宿特別緑地保全地区「富澤湧水」

斜面上部には数本のウメの木やミズキ、クヌギがあり、ササが生い茂っています。その一角に、新倉の竹を活用した簡素な落ち葉置き場が出来上がりました。早春には“ウグイス”も訪れるササヤブや奥深い森があり、環境を壊すことのないよう慎重に保全中です。

